

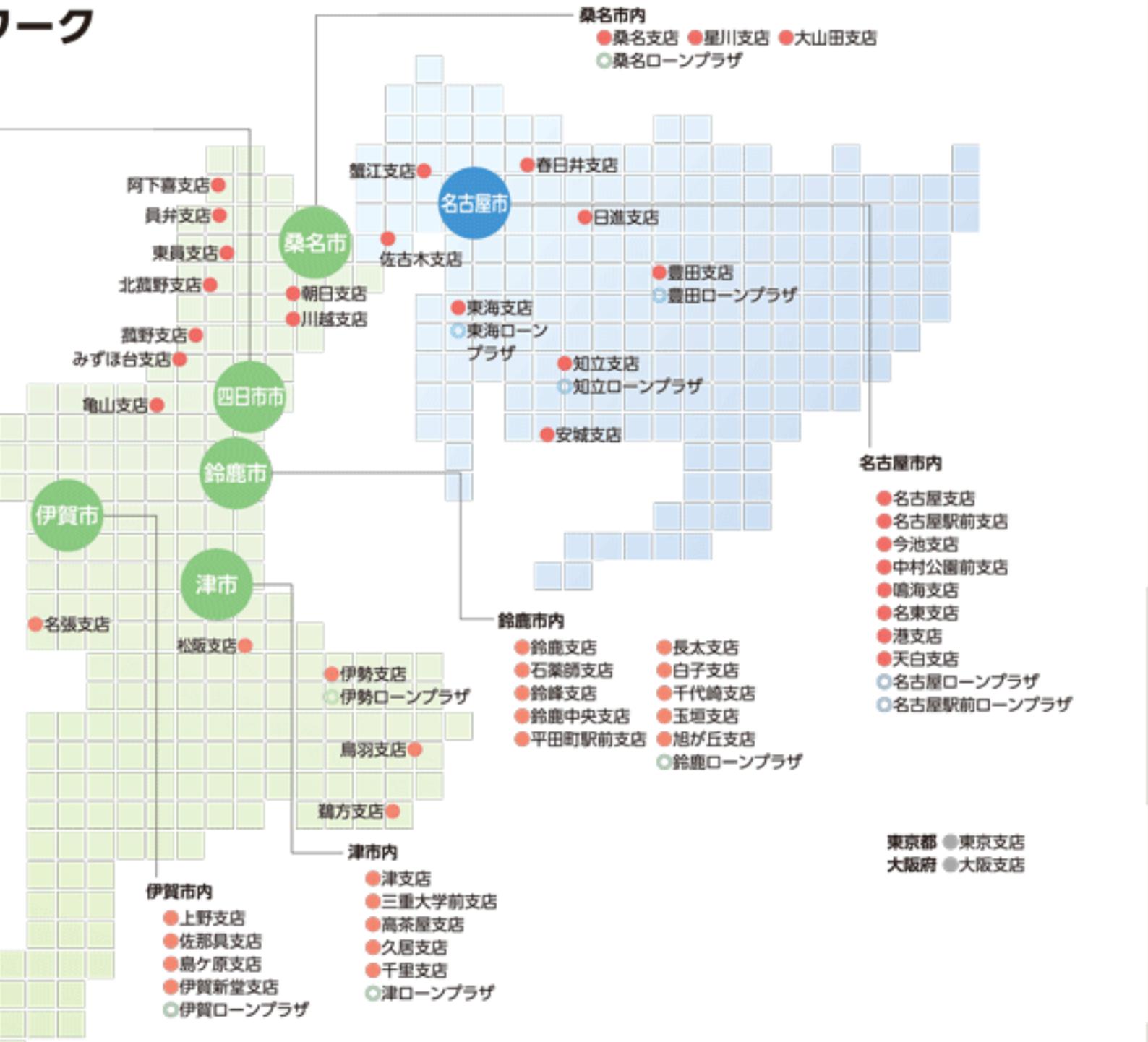
2017.9 三重銀行

営業の中間ご報告
ミニディスクロージャー誌

店舗ネットワーク

四日市市内

- 本店営業部
- 四日市駅前支店
- 西支店
- 阿倉川支店
- 四日市市役所内支店
- 塩浜支店
- 追分支店
- 日永支店
- 新道支店
- 三重支店
- 桜支店
- 常磐支店
- 久保田支店
- 四郷支店
- 川島支店
- 北勢市場支店
- 富田支店
- 大矢知支店
- 山城支店
- 楠支店
- ファースト支店
(被振込専用支店)
- 四日市ローンプラザ



各店舗の
地図・連絡先は
こちら



バーコード読み取り対応の携帯電話・スマートフォンでご利用いただけます。(一部ご利用いただけない機種もございますので、ご留意ください。)

	三重	愛知	東京	大阪	計
支店	57	16	1	1	75
ローンプラザ	6	5	-	-	11
(2017年10月31日現在)					



三重銀行 総合企画部 広報室
四日市市西新地7-8 TEL 059-353-3111
<http://www.miebank.co.jp> / 2017年11月発行



このミニディスクロージャー誌は環境に配慮した
再生紙と植物油インキを使用しています。

中期経営計画

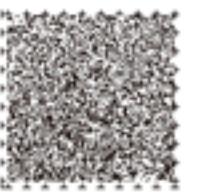
成長 ~地域とともに~

(2015年4月~2018年3月)

開



SPコードは、文字情報を音声情報に変換して記録するコードです。1.8cm角で800文字程度の情報を記録し、専用読み取り装置を利用し音声で聞くことができます。



地域とともに、みなさまとともに

経営理念

地域とともに
発展する銀行

お客さまとともに
栄える銀行

株主・従業員とともに
歩む銀行

Contents

中期経営計画	01
ごあいさつ	02
経営統合について	03
お客さま、地域とともに	05
株主さまとともに	11
従業員とともに	11
業績ハイライト	13
財務諸表	15
チャネルの充実	17



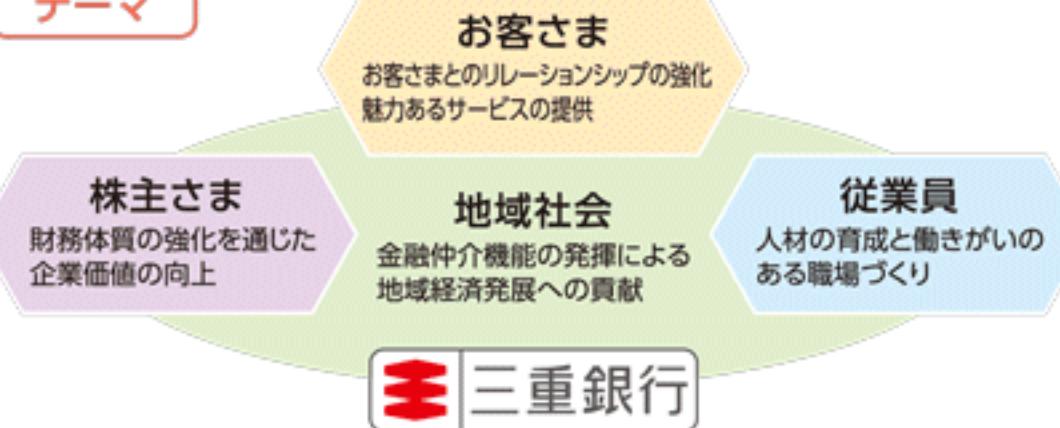
中期経営計画

成長 ~地域とともに~ (2015年4月~2018年3月)

目指す姿

地元で確固たる存在感を示し、
成長し続ける銀行

テーマ



ごあいさつ

「地元で確固たる存在感を示し、成長し続ける銀行」を目指して

日頃より私ども三重銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。

当行は、「地域とともに発展する銀行」、「お客さまとともに栄える銀行」、「株主・従業員とともに歩む銀行」という経営理念のもと、中期経営計画を「成長～地域とともに～」とし、お客さま、株主さま、従業員それぞれの満足度を高める施策を遂行し、地域とともに発展することをテーマとしています。

お客さまとともに成長していくためには、事業者の方、個人の方とのリレーションシップを強化し、魅力あるサービスを提供することが重要だと考えています。

お客さまとの接点を増やし、きめ細やかな課題解決を行う体制づくりとして順次進めてきましたフルバンキング化は2017年4月をもって完了し、全営業店で事業性のご融資を取り扱う「全店フルバンキング体制」を構築しました。

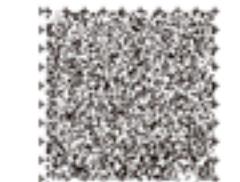
その上で、事業者のお客さまに対しては、ライフステージに応じた課題解決の提案を積極的に行ってています。個人のお客さまに対しては、預かり資産やローン商品の提案能力向上と魅力ある商品を充実させることで、お客さまの幅広いニーズにお応えできるよう努めています。

2017年2月に基本合意し、統合準備委員会を設置して協議・検討を進めてまいりました第三銀行との経営統合につきましては、2017年9月に株式移転による経営統合を行うことで最終合意しました。

2018年4月設立予定の新たな金融グループの名称は「三十三フィナンシャルグループ」といたしました。統合の相乗効果の発揮により、三重県、愛知県及び近接地域における経済活性化の実現に向けて地域との信頼関係を更に強化し、お客さまから愛され、お客さま、地域とともに成長する金融グループを目指してまいります。

どうか今後とも一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

三重銀行 頭取 渡辺 三憲



第三銀行との経営統合について

■新グループの商号、社名に込めた思い、経営理念

株式会社 三十三フィナンシャルグループ

(英文名称) San ju San Financial Group, Inc.

社名に 込めた思い

「三十三」(さんじゅうさん)は、三重銀行と第三銀行のそれぞれの強みをプラス(+)することで、地域とともに成長し、活力あふれる未来の創造に貢献したいという思いを込めています。

経営理念

地域のお客さまから愛され信頼される金融グループとして、地域とともに成長し、活力あふれる未来の創造に貢献します。

■グループ概要

本店所在地 (登記上の住所)	三重県松阪市京町510番地 (現 第三銀行本店所在地)
本社所在地 (本社機能)	三重県四日市市西新地7番8号 (現 第三銀行本店所在地)
代表者 (予定)	代表取締役会長 岩間 弘 (現 第三銀行 取締役頭取) 代表取締役社長 渡辺 三憲 (現 第三銀行 取締役頭取)
上場証券 取引所	東京証券取引所 名古屋証券取引所

▼共同記者会見



三重銀行:渡辺頭取 第三銀行:岩間頭取
2017年9月15日開催の両行の取締役会において、共同株式移転方式による両行の完全親会社設立、並びに共同持株会社の概要及び本株式移転の条件等について決議し、本経営統合に関して最終合意しました。また、同日名古屋市内において共同記者会見を行いました。

■経営統合に至る背景

経営環境の変化

- ・人口減少、高齢化の進展等、社会の構造的問題
- ・FinTech等の技術革新を通じた異業種からの参入
- ・市場金利低下等の環境変化がもたらす競争激化

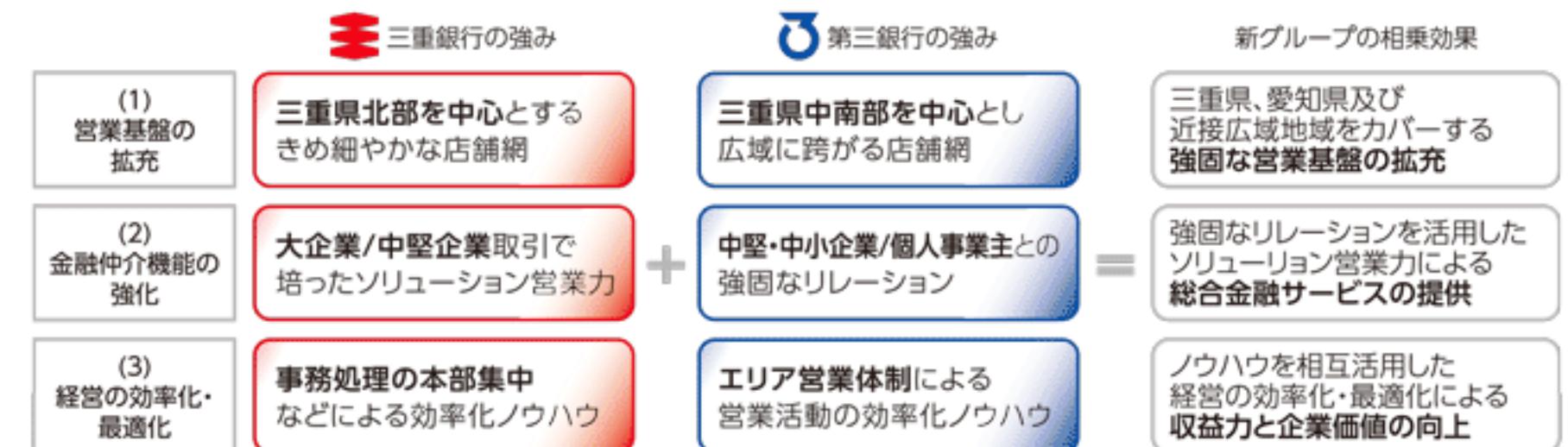
両行共通の経営課題

三重県、愛知県及び近接地域におけるプレゼンスをこれまで以上に高める強固な経営基盤の確立

地方銀行として地域経済の発展・成長に向けて、持続的に貢献していく為には、将来を見据えた新たなビジネスモデルを確立していく必要があると判断し、最終合意に至る

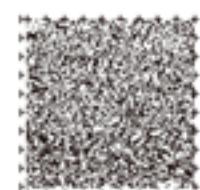
■経営戦略の概要

両行の「3つ」の強みを相互活用し、「三+三」(三 プラス 三)の相乗効果を実現することで、地域の活性化に貢献し、地域のお客さまから愛され信頼される金融グループを目指します。



■今後のスケジュール(予定)

2017年12月15日(金)(予定) 両行臨時株主総会(株式移転計画の承認決議)
2018年 4月 2日(月)(予定) 持株会社設立(効力発生日)及び持株会社上場日



日常的・継続的な面談を通じて、お客さまとのリレーションを構築し、それによって得られた情報をもとに、お客さまのライフステージに応じた最適なソリューションを提案・実行してまいります。



本店営業部
前澤 春行

地元四日市を中心に、専門担当者として、お客さまのライフステージに応じた融資や運用等の金融サービスの提供に努めています。

経済環境が大きく変化する中、常にお客さまの立場であればどのような事を考えるのか、銀行に何を求めるかを第一に考えて営業を行ふことを心がけています。

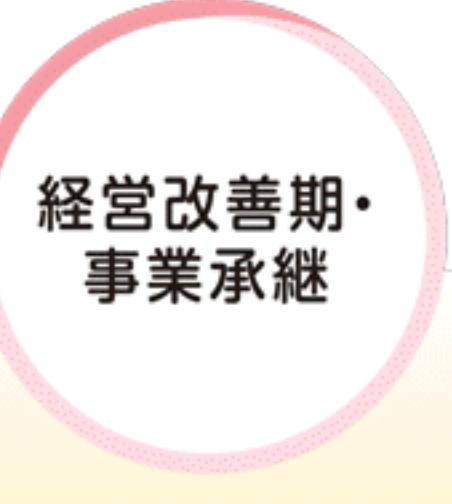
今後も日々の営業活動を通じて、地方創生や地域経済の活性化に繋がるよう取り組んでいきたいです。



経営改善期・事業承継



成長期



- 事業立上げ時の資金需要への円滑な対応
- 「みえぎんビジネスプランコンテスト」の実施
- 創業・新事業支援における商工会議所等との連携
- 「起業家とのビジネスミーティング」の開催

6次産業化支援

- 多様な資金調達手段の提供
- ビジネスマッチングの積極的な推進
- 国際ビジネスのサポート
- セミナーによる情報提供
- 経営相談・支援スキルを持った人材の育成

次世代経営者育成塾の実施

- 事業承継、M&Aのサポート
- 相談態勢の充実による円滑な金融の推進
- 経営改善支援の取組み
- 企業の再生計画策定支援

みえぎんビジネスプランコンテスト

三重県・愛知県で創業・新事業展開を予定している法人・個人を募集し、2016年度は50件の応募がありました。このうち6件を表彰し、三重銀行グループが事業化に向けサポートを行っています。



創業塾・創業支援セミナー

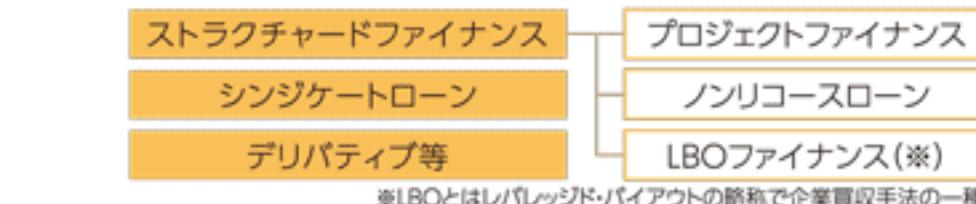
創業に関する基礎知識が短期間で習得できる「創業塾」(三重県内各地の商工会議所や商工会等主催)に三重銀総研の講師を派遣して、創業を目指す方をサポートしています。



法人ソリューション営業部のサポート

2016年10月より営業推進部内に「法人ソリューション営業部」を設置しています。

専門性の高いソリューション案件に特化することで、多様化するお客さまの資金調達手段のサポートをさらに強力に推進しています。



「クラウドファンディング」でのサポート

ミュージックセキュリティーズ株式会社と連携して、インターネットを利用して個人投資家から事業資金を集め、「クラウドファンディング」を活用し、お客さまの資金調達や販路拡大のサポートを行っています。

2016年度のサポート案件例

いなべ市産ミルキークイーンを使った純米酒「猪名ひめ」応援プロジェクト



いなべ市産の粘りと甘みの強いお米「ミルキークイーン」を主原料とした純米酒「猪名ひめ」(いなひめ)の購入型クラウドファンディング販売元である農事組合法人うりばうが三重銀総研(三重県6次産業化サポートセンター)の支援を受け実現

みえぎん次世代経営者育成塾

次世代経営を担う若手経営者を対象に、1年間に亘って開催しており、2017年度は22名に参加いただいています。2015年度開催以来、累積参加者は89名となりました。



事業保険の取扱開始

会社経営に伴う課題を生命保険を活用して解決するため、2017年10月より事業保険(法人向け生命保険)の取扱を開始しました。

事業保険で支援する企業ニーズ例



よりきめ細やかなサービスの提供を目指して

お客さまの幅広いニーズによりきめ細やかにお応えできるよう、組織体制として全店フルバンキング化を完了させました。また引き続き商品ラインアップの充実等を行ってまいります。

「豊田支店」「豊田ローンプラザ」を新築移転

2017年11月「豊田支店」及び「豊田ローンプラザ」を新築移転しました。個室の相談ブース等を充実させ、ゆったりとした雰囲気の中で資産運用等を相談いただけます。

新住所: 豊田市喜多町3丁目120番地



全店フルバンキング化の完了

2017年4月に全店フルバンキング化が完了しました。

法人営業部体制で培った専門性とフルバンキング化によるきめ細やかさを活かし、より質の高い金融サービスを提供してまいります。

● 営業体制の変遷

「法人営業部」体制 (2003年度～2016年度)

高度化、多様化するニーズに対応するため、営業ミッションを明確化した法人営業部体制へ

（成果・課題）

専門特化により職員のスキル向上やノウハウ蓄積が図られ、業績が大きく拡大

お客さまのニーズに更にきめ細やかに、総合的に対応する必要性の増大

全店フルバンキング体制 (2017年度～)

すべての営業店で、事業性のご融資を取り扱える体制へ

お客さまの接点の増加

リレーション構築 & ソリューション提供

お客さまから相談される関係へ

スマートフォンアプリを活用した新サービス

2017年9月より口座開設や各種お取引の利便性を向上するためスマートフォンアプリによる新サービスを導入しました。

またご利用者を対象としたキャンペーンも実施中です。(2018年3月31日まで)



ライフプランに応じたローン商品

お客さまのあらゆるニーズにお応えできるよう、多彩なローン商品をご用意しています。



お車の購入の際は お客様の目的にあわせて使いみ
検費用や金融機関等からの借換 ちを自由にご利用いただけます。
お車の購入費用のほか、修理・車
の修理料のほか、アパート等入居時の
敷金・礼金や引越し費用などにも
ご利用いただけます。

MIMICMIKE ©1987, 2017 SANRIO CO., LTD. APPROVAL No. G580472

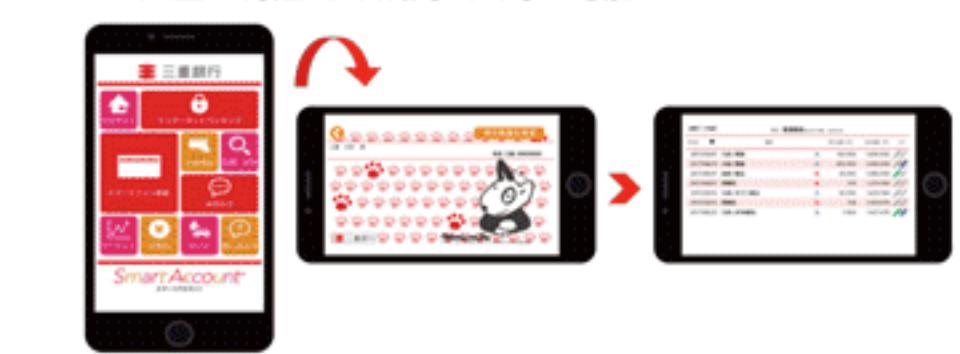
みえぎん口座開設アプリ

スマートフォンと運転免許証があれば、いつでもどこでも簡単に口座開設のお申し込みが可能です。



三重銀行アプリ「スマートアカウント」

スマートフォンをあたかも通帳のように使用できる「スマートフォン通帳」では、いつでもどこでも入出金明細照会・残高照会等が可能です。



マイカーローンの対象車両が拡大

2017年9月「みえぎんロードサービス付マイカーローン」のローン対象車両について、従来の「車・オートバイ」のほか、「ロードバイク・水上バイク」等を加えることで、さらにご利用いただきやすい商品へ改定しました。



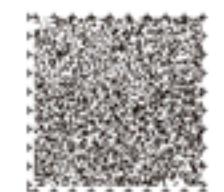
(チラシの内容は2017年9月現在)

個人型確定拠出年金(愛称:iDeCo)の取扱い

2017年1月から加入者範囲が拡大し、税制優遇もあるiDeCoを、老後に備える資産形成手段のひとつとして積極的にご案内しています。

iDeCo 3つの税制優遇

月々の掛け金が全額所得控除
運用益は非課税で再投資
受け取るとともに税制優遇措置



地域における地方創生への取組みに積極的に参画し、地域の活性化に寄与してまいります。またNPOのみなさまを地域活性化の重要な担い手として応援してまいります。

JTB中部との連携協定締結・商談会の実施

2017年5月JTB中部と「海外からの誘客に関する連携協定」を締結しました。これは双方の持つ資源を有効に活用し、海外からの旅行者受入に向けた魅力ある観光地づくり及び体制構築、旅行プラン・商品の開発を通じて、地域経済の活性化及び地方創生に資することを目的としたものです。

2017年7月連携協定に基づき商談会を実施し、7社に参加いただきました。



連携協定締結



商談会の模様

「四日市ベトナムフェア」の開催支援

2017年9月「四日市ベトナムフェア」の開催を、当行並びに三重銀総研が実行委員会に参画・支援しました。

これは2016年8月に、四日市市とベトナムのハイフォン市が経済交流に関する覚書を締結した記念イベントとして開催されたものです。



NPOの支援

▼寄付による応援

2004年度以降、地元NPOに寄付を行い、活動を応援しています。2016年度は、次世代育成支援を主な活動分野とする11団体に対し総額100万円(各団体に4万円～16万円)を寄付しました。

また、当行経営陣と「NPO交流会」を開催し、2016年度は4つの団体と意見交換を行いました。

▼NPO向けご融資

NPO法人の「つなぎ資金」ニーズに対応する「NPOローン」などにより、資金需要にお応えしています。2005年よりNPOローンを開始して以来、累計融資実行額は24件/84百万円となりました。(2017年10月末現在)

環境保全、次世代育成支援の取組み

地域とともに

「環境保全」と「次世代育成支援」を社会貢献活動の柱として、様々な取組みを行っています。

植樹活動

▼「みえぎん まなびの森」での植樹

「環境保全」、「次世代育成支援」を目的に三重県菰野町内の当行保有地において、認定NPO法人「森林(もり)の風」と協働で「みえぎん まなびの森」づくりを行っています。

2017年7月、当行職員並びに職員家族他28名で「植樹会および工作教室」を行いました。



▼御在所岳山上での植樹

2017年9月、御在所岳山上で植樹活動を当行職員並びに職員他31名で行いました。



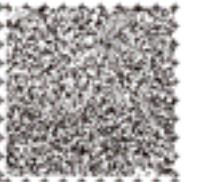
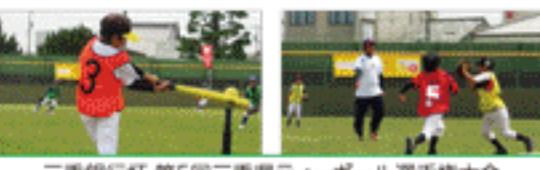
「夏休み!銀行ワクドキ体験隊」の開催

毎年、小学校高学年の児童と保護者の方を対象に開催しており、2017年度は、28組65名の親子が参加されました。クイズやゲームを通じてお金の役割や銀行の仕組みについて学んでいただくことを目的に、2007年より開催しています。



スポーツ振興による次世代育成

地域のスポーツ振興による次世代育成を図ることを目的として、2017年5月に「三重銀行杯 第5回三重県小学生ティーボール選手権大会」を、2017年7月には「第3回みえぎんカップ 三重銀行杯少年サッカー大会」を開催しました。



当行は、ステークホルダー
(お客さま、株主さま・投資家、
従業員、地域等)に対する
情報発信活動に積極的に
取り組んでいます。情報開示
を通じて、ステークホルダー
とのコミュニケーションを
一層充実させてまいります。

IR・CR活動

株主さま・投資家への情報発信活動(IR活動)として、「株主さま講演会」や、東京で機関投資家等向けに会社説明会を開催しています。また、地域への情報発信活動(CR活動)として、「経営ご報告会」を各地で開催し、頭取から当行の経営の内容などについて説明しています。



ディスクロージャー誌、ミニディスクロージャー誌の発行

決算状況、トピックスをお客さまや株主のみなさまにタイムリーにわかりやすくお知らせするため、ディスクロージャー誌、ミニディスクロージャー誌を発行しており、当行に関する情報の積極的な発信に努めています。

働きがいのある職場づくり

子育て支援やワークライフ
バランスの推進を通して、
男女がともに活躍し、キャリア
アップを図ることができる、
働きがいのある職場づくり
に取り組んでまいります。

「ファミリーサポートプラン」の新設

2017年1月に従来の介護制度をより拡充させた「安心介護サポートプラン」を新設しました。子育て支援制度である「わくわく子育てサポートプラン」と総称して「ファミリーサポートプラン」とし、ワークライフバランスの推進に努めています。

亀山支店 ロビーコンシェルジュ 野口 由佳理

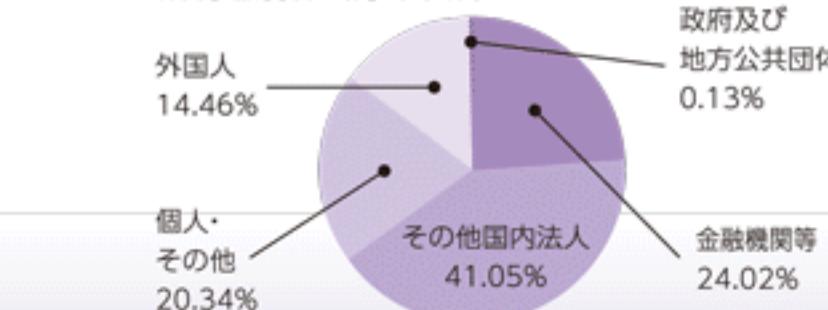
「わくわく子育てサポートプラン」の育児短時間勤務制度を利用しています。朝は子どもを保育園へ送ってから出勤し、仕事では店頭やお客様のご自宅で資産運用のご相談などを受けています。子育て世代の方との会話や、高齢の方からの励ましの言葉は仕事の活力となっています。また帰宅後は小学校や保育園に通う子どもとの会話で日々癒されています。

これも家族の助けや、職場の方々のご理解のおかげだと感謝し、今の私にできる気遣いや、応対を仕事に活かしていきたいと思います。

株式の状況(2017年9月30日現在)

- ▶ 発行可能株式総数 25,000,000株
- ▶ 発行済株式の総数 13,483,034株
- ▶ 株主数 5,705名

▼所有者別株式分布状況



●当行株式についてのお問い合わせ先(株主名簿管理人の連絡先)

〒168-8620 東京都杉並区和泉2-8-4 日本証券代行株式会社 代理人部

0120-707-843

受付時間(平日9:00~17:00)

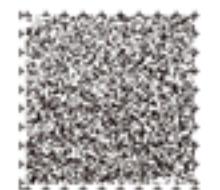
従業員とともに

わくわく子育てサポートプランの内容

施 策	内 容
最長3年間の育児休職期間	保育所に入所できない等の事情がある場合、育児休職期間を最長3年間とする
育児短時間勤務制度	小学校3年生修了までの子を養育する職員に短時間勤務を認める制度(5.5時間、6時間、7時間の短時間勤務を利用可能)
育児再雇用制度	育児・出産を理由に退職した職員が退職後5年以内に復職を望む場合、退職前と同資格で再雇用する制度
所定外労働免除制度	小学校3年生修了までの子を養育する職員の所定外労働を免除する制度

安心介護サポートプランの内容

施 策	内 容
介護休職制度	通算365日まで3回を上限とした介護休職を認める制度
介護時短勤務制度	介護による短時間勤務を利用開始から3年間を上限として利用できる制度(5.5時間、6時間、7時間の短時間勤務を利用可能)
介護休暇制度	介護休暇を年5日まで時間単位で取得できる制度
所定外労働免除制度	介護終了まで所定外労働を免除する制度



業績ハイライト(2017年9月中間期)

貸出金残高

1兆3,734億円

貸出金は、地元事業性貸金を中心に増加し、前年比56億円(0.4%)増加しました。

地元三重・愛知では、前年比258億円(2.5%)増加しました。

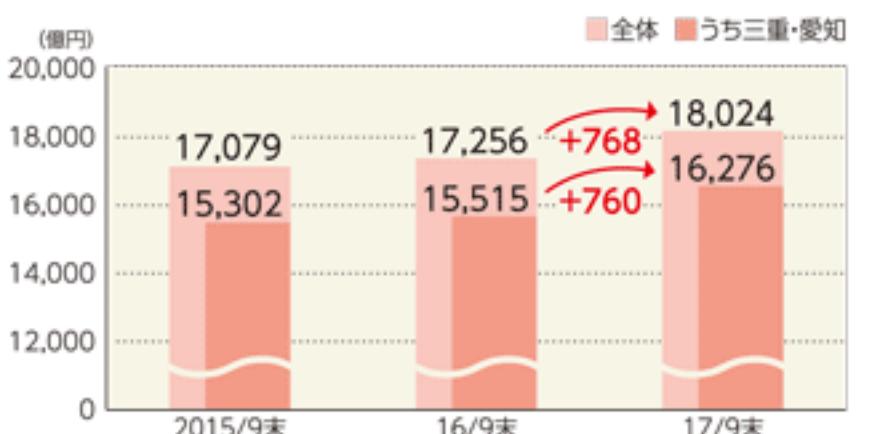


預金・譲渡性預金残高

1兆8,024億円

預金・譲渡性預金は、地元預金を中心に増加し、前年比768億円(4.4%)増加しました。

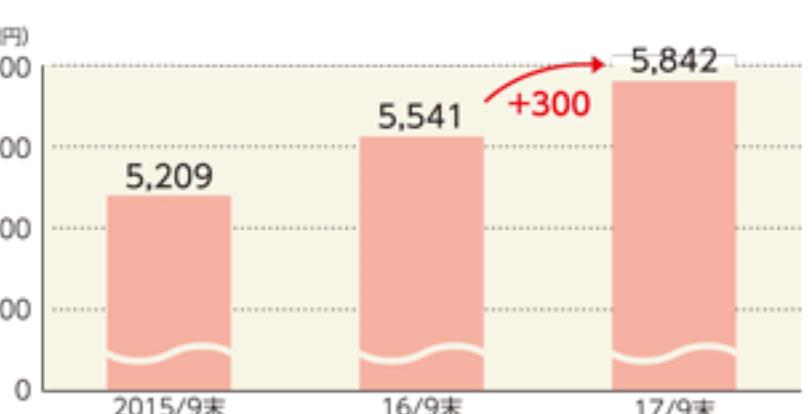
地元三重・愛知では、前年比760億円(4.9%)増加しました。



地元事業性貸出金残高

5,842億円

地元(三重・愛知)事業性貸出金は、中小企業への融資を中心に前年比300億円(5.4%)増加しました。



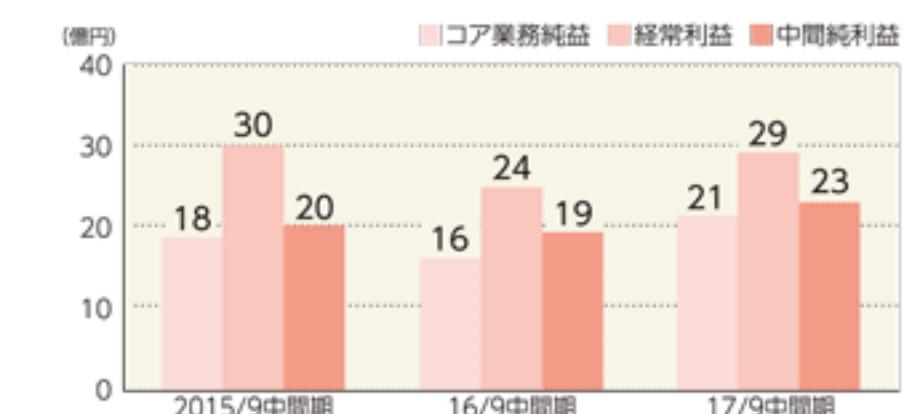
利益

**コア業務純益
21億円**

**経常利益
29億円**

**中間純利益
23億円**

資金利益が前年同期比増加したことなどから、コア業務純益、経常利益、当期純利益はそれぞれ前年同期比増益となりました。

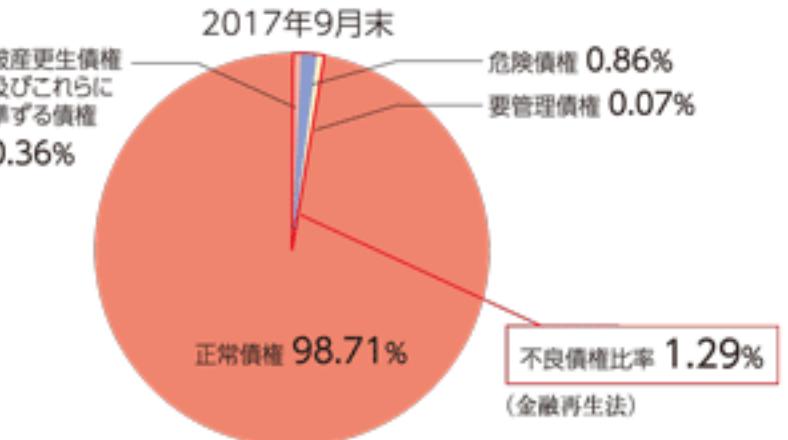


不良債権比率

1.29%

金融再生法に基づく開示債権は181億円、総与信に対する比率は1.29%と資産の健全性は引き続き高い水準を維持しています。

(参考)2017年3月末 地銀平均1.8%)



(単位未満四捨五入)

個人預かり資産残高

1兆4,680億円

個人預かり資産は、保険を中心に残高を伸ばし、前年比278億円(1.9%)増加しました。



自己資本比率(国内基準)

**7.89% (単体)
8.18% (連結)**

自己資本比率は、単体で7.89%、連結で8.18%となり、求められる水準を大きく上回っています。



格付け

当行は日本格付研究所(JCR)から格付けを取得しています。当行の健全な財務内容が評価され、良好な格付けとなっています。

日本格付研究所 (JCR)

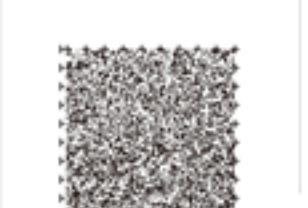
長期発行体格付



債務履行の確実性は高い

当行の格付(長期発行体格付)はA(格付の見通し:安定的)となっておりましたが、2017年3月にクレジットモニター(※)の指定を受け、#A(見直し方向:ネガティブ)へ変更されております。

※付与された格付けについて、重大な事象が発生し又は見込まれるために変更の可能性があることをいい、それが解除となるまで格付記号の前に「#」が付けられます。



単体財務諸表

連結財務諸表

▼中間貸借対照表(単体)				(単位:百万円)	
科 目	2016年9月中間期末 (2016年9月30日現在)	2017年9月中間期末 (2017年9月30日現在)	科 目	2016年9月中間期末 (2016年9月30日現在)	2017年9月中間期末 (2017年9月30日現在)
【資産の部】				【負債の部】	
現金預け金	78,085	180,019	預金	1,630,126	1,715,733
			譲渡性預金	95,500	86,702
コールローン	1,791	2,069	債券貸借取扱い担保金	12,187	20,183
			借用金	61,000	53,000
買入金銭債権	1,473	1,189	外国為替	4	—
			その他負債	10,609	9,482
商品有価証券	72	76	賞与引当金	526	526
			退職給付引当金	91	103
有価証券	457,121	435,049	執行役員退職慰労引当金	59	69
			差額預金払戻損失引当金	143	141
貸出金	1,367,758	1,373,431	繰延税金負債	7,240	9,243
			支払承諾	7,649	7,198
外国為替	2,288	2,100			
その他資産	9,640	10,677			
			負債の部合計	1,825,138	1,902,384
【純資産の部】					
有形固定資産	10,715	10,186	資本金	15,295	15,295
			資本剰余金	11,144	11,144
無形固定資産	2,600	2,382	利益剰余金	68,768	71,473
			自己株式	△ 57	△ 63
前払年金費用	3,767	3,319	(株主資本合計)	(95,151)	97,850
			税引前中間純利益	2,460	2,913
支払承諾見返	7,649	7,198	法人税、住民税及び事業税	533	574
			特別損失	10	9
貸倒引当金	△ 3,942	△ 3,715	その他有価証券評価差額金	19,709	24,233
			繰延ヘッジ損益	△ 977	△ 482
			(評価・換算差額等合計)	(18,731)	23,750
			中間純利益	1,955	2,306
			(参考)業務純益	1,829	2,194
			(参考)コア業務純益	1,672	2,181
資産の部合計	1,939,020	2,023,985	純資産の部合計	113,882	121,600
			負債及び純資産の部合計	1,939,020	2,023,985

▼中間損益計算書(単体)				(単位:百万円)	
科 目	2016年9月中間期 (2016年4月1日～ 2016年9月30日)	2017年9月中間期 (2017年4月1日～ 2017年9月30日)	科 目	2016年9月中間期末 (2016年9月30日現在)	2017年9月中間期末 (2017年9月30日現在)
【経常収益】				13,784	13,936
資金運用収益	8,994	9,000	(うち貸出金利息)	(7,056)	(6,899)
(うち有価證券利配当金)	(1,868)	(2,041)	役務取引等収益	2,929	2,979
貿易収益	703	1,015	その他業務収益	—	—
その他経常収益	1,156	941	経常費用	11,314	11,013
有価証券	455,874	433,947	資金調達費用	906	548
貸出金	1,363,019	1,368,618	(うち預金利息)	(428)	(248)
外国為替	2,288	2,100	役務取引等費用	953	952
リース債務及びリース投資資産	7,160	8,894	その他の業務費用	—	172
その他資産	18,170	20,685	営業経費	8,952	9,146
			その他経常費用	501	192
			経常利益	2,470	2,923
			有形固定資産	11,147	10,772
			無形固定資産	2,614	2,376
			递延税金資産	297	247
			支払承諾見返	7,649	7,198
			貸倒引当金	△ 5,315	△ 4,750
			中間純利益	1,955	2,306
			(参考)業務純益	1,829	2,194
			(参考)コア業務純益	1,672	2,181

(単位未満切捨)

▼中間貸借対照表(連結)				(単位:百万円)	
科 目	2016年9月中間期末 (2016年9月30日現在)	2017年9月中間期末 (2017年9月30日現在)	科 目	2016年9月中間期末 (2016年9月30日現在)	2017年9月中間期末 (2017年9月30日現在)
【資産の部】				【負債の部】	
現金預け金	78,103	180,036	預金	1,623,242	1,708,684
コールローン及び買入手形	1,791	2,069	譲渡性預金	95,500	86,702
買入金銭債権	1,473	1,189	債券買取扱い担保金	12,187	20,183
商品有価証券	72	76	借用金	65,831	60,810
有価証券	455,874	433,947	外国為替	4	—
貸出金	1,363,019	1,368,618	その他負債	17,115	16,113
外 国 為 替	2,288	2,100	貯金引当金	581	576
リース債務及びリース投資資産	7,160	8,894	有価証券	181	190
その他資産	18,170	20,685	退職給付に係る負債	59	69
			執行役員退職慰労引当金	143	141
			差額預金払戻損失引当金	7,274	9,457
			繰延税金負債	7,649	7,198
			支払承諾	9,444	9,628
			負債の部合計	1,829,769	1,910,126
			【純資産の部】		
			資本金	15,295	15,295
			資本剰余金	11,437	11,437
			利益剰余金	71,814	75,088
			自己株式	△ 57	△ 63
			(株主資本合計)	(98,490)	101,757
			その他有価証券評価差額金	19,891	24,504
			税金等調整前中間純利益	2,578	3,416
			特別利益	0	0
			特別損失	10	9
			税金等調整後中間純利益	616	723
			法人税等調整額	△ 35	71
			支払承諾見返	581	795
			貸倒引当金	916	966
			中間純利益	1,997	2,620
			(参考)業務純益	20	45
			(参考)コア業務純益	1,976	2,575
			純資産の部合計	118,256	126,965
			資産の部合計	1,948,026	2,037,092
			負債及び純資産の部合計	1,948,026	2,037,092

(単位未満切捨)

▼中間損益計算書(連結)				(単位:百万円)	
科 目	2016年9月中間期 (2016年4月1日～ 2016年9月30日)	2017年9月中間期 (2017年4月1日～ 2017年9月30日)	科 目	2016年9月中間期末 (2016年9月30日現在)	2017年9月中間期末 (2017年9月30日現在)
【経常収益】				16,	

コミュニケーション・チャネルを充実させ、ますます便利に

■「リージョネット三重」の運営

三重銀行グループが運営するインターネットショッピングモール「リージョネット三重」にて、三重県の数多くの特産品を販売し、また様々な情報提供を行っています。(運営元:三重銀総研)



■「LINE」で旬の情報を届け

スマートフォンのコミュニケーションアプリ「LINE@」のアカウントを開設し、「旬のキャンペーン」や「新商品・サービス」などの情報をタイムリーに発信しています。



■円滑なコミュニケーション

様々なツールを活用し、安心してご利用いただける店舗づくりに取り組んでいます。

- 耳マーク
筆談可能なことを示します。
- クリアーボイス
音声を聞きとりやすくします。



ハンドセット付ATM

音声でご案内する手順に従って操作することで、お取引いただくことができます。



筆談器・

コミュニケーションボード

意思をスムーズに伝えていただぐツールです。

■広報物の音声化

文字情報を音声で聞くことができる「SPコード」(右下にあるコード)をディスクロージャー誌などに導入しています。「SPコード」を読み取る装置を5ヵ店に設置しており、「SPコード」の認知度向上にも協力しています。



■ATM

▼提携ATM

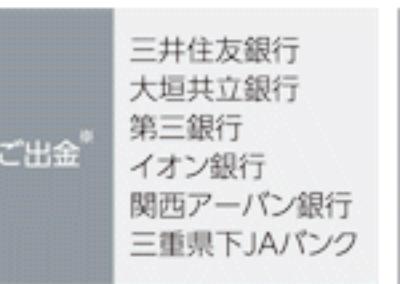


全国のセブン-イレブンなどに設置



全国のファミリーマートなどに設置

▼ATM相互無料開放行



※所定の時間外のご利用には、別途時間外手数料(108円)が必要となります。

■インターネットの不正利用にご注意ください!

インターネットバンキングの不正利用・不正送金に関する犯罪が引き続き全国で多発しています。

当行のインターネットバンキングでもセキュリティ等必要な対策は講じておりますが、お客さまにおかれましても不正利用・不正送金防止および被害軽減のため、以下の対策をおすすめしています。

●類推されやすい番号の利用を避け、定期的な暗証番号の更新

インターネットバンキングご利用にあたっては類推されやすいログイン暗証、確認暗証の利用を避け、ログイン暗証・確認暗証は定期的に変更してください。また、パソコン等端末内やクラウドサービス等外部のサービス内に会員番号・ログイン暗証・確認暗証・秘密の質問を保存しないようにしてください。

●ログイン履歴や取引履歴の確認

インターネットバンキングにログインした際、ログイン後最初の画面右上に表示される、直近のログイン履歴や取引履歴を確認し、万が一、身に覚えのない履歴があった場合には、速やかに当行あてにご連絡ください。

●振込限度額の引き下げ設定

インターネットバンキングで設定された振込限度額の引き下げを希望されるお客さまにつきましては、インターネットバンキングの画面上での即時変更の手続きが可能です。

万が一、不正取引が発生した時の被害を最小限に留めるため、振込限度額を必要最低限の金額まで引き下げをおすすめしています。

●ウイルス対策ソフト等の導入と、ウイルス定義ファイルの最新状態への更新

お客さまご自身におかれましてもウイルス対策ソフトの導入、及びウイルス定義ファイルを最新の状態に更新していただくよう、ご注意願います。

当行インターネットバンキングではフィッシング詐欺※対策として、ウイルスによる不正送金や様々な攻撃よりパソコンを守るフィッシング対策ソフト「SaAT Netizen」を当行ホームページから無料でダウンロードができるようにしています。ご利用いただいている方は、この機会にぜひご利用ください。

※フィッシング詐欺: 不特定多数のターゲットに対して、金融機関やクレジットカード会社による正規の通知に偽装したメールを送り、接続リンク上で個人情報を打ち込ませる詐欺。

お問い合わせ先

三重銀行EBサービスセンター

0120-330-995

受付時間／月曜日～金曜日(祝日を除く) 9:00～17:00

